

株主の皆様へ

## 第52期事業報告書

平成16年4月1日～平成17年3月31日

# NANKAI PLYWOOD



南海プライウッド株式会社

## 企業理念 *Company concept*

美しさに富み、  
心やすらぐ  
快適な住環境をつくる  
「木」の再現を  
求めつづけます。

## 会社概要 (平成17年3月31日現在)

商号 南海プライウッド株式会社  
本社 〒760-0067  
香川県高松市松福町一丁目15番10号  
電話 087(825)3615(代表)  
Eメール np@nankaiplywood.co.jp  
http://www.nankaiplywood.co.jp  
設立 昭和30年4月16日  
資本金 21億21百万円  
従業員数 348名  
事業内容 建築内装材の製造・販売  
事業所 志度工場  
〒769-2101 香川県さぬき市志度5388番地  
物流センター  
〒769-2314 香川県さぬき市造田乙井170番地1  
朝日新町保税倉庫  
〒760-0064 香川県高松市朝日新町28番1号  
連結子会社 ナンリツ株式会社  
南海港運株式会社  
南海システム作業株式会社  
SENTUHAMONI SDN.,BHD.  
PT.NANKAI INDONESIA

## 会社沿革

事業所・子会社の設置	日付	製品と認証取得
香川県高松市新塩屋町に設立	昭和30年4月 昭和33年4月 昭和36年12月 昭和37年4月	合板の製造販売 天井板の生産開始
本社ビル新築 香川県高松市高松町に 屋島工場新設 四国建設機器(株)設立 [現在のナンリツ(株)]	昭和37年12月	
香川県高松市郷東町に 郷東工場新設 南海港運(株)設立	昭和41年6月 昭和43年10月	南海天井板(ラミネート天井) 生産開始 合板製造
香川県さぬき市志度に 志度配送センター新設	昭和46年10月 昭和49年9月	日本農林規格(JAS)認定 (屋島工場)
志度工場新設	昭和52年1月	
香川県高松市朝日新町に 保税倉庫新設 香川県高松市松福町に 本社ビル新築移転	昭和52年5月 昭和53年4月 昭和58年4月	木質建材認証第1号(農林省) 準不燃天井「セミアフテン」生産 開始 日本農林規格(JAS)認定(郷東工場)
屋島工場生産設備を志度工場 へ移転	昭和59年8月 昭和63年1月	
マレーシアに合弁会社設立 SENTUHAMONI SDN.,BHD.	平成元年8月 平成2年7月 平成5年3月	収納材の生産開始 床材(フローリング)の生産開始
香川県さぬき市造田に 物流センター新設	平成5年7月 平成7年4月 平成8年4月	日本農林規格(JAS)認定(志度工場) 大阪証券取引所市場第二部に上場 床材(シートフローア)の生産開始
志度工場内に環境試験棟新設	平成8年8月 平成9年4月	天井材「洋間天井」の生産開始 建具材「内装ドア」の生産開始
インドネシアに合弁会社設立 PT.NANKAI INDONESIA	平成9年12月	「低ホルムアルデヒド特殊加工化 粧合板」、「低ホルムアルデヒド複 合1種フローリング」認定取得 床材(木質電気一体型床暖房) 「うたたね」開発
郷東工場稼働停止 南海システム作業(株)設立 南海リフォームセンター設置	平成10年1月 平成10年11月 平成11年5月 平成12年6月	(財)ペタラーヒングよりJIS認定取得 ISO9001審査登録 床材(リフォームフローア)の生産 開始
	平成12年12月	床材(電気式暖房)の生産開始 床材(温水一体型床暖房)「ゆここ ち」の生産開始
	平成14年3月 平成14年4月 平成14年5月 平成14年8月 平成15年7月	ISO9001:2000年版に登録変更 全製品のホルムアルデヒド放散量 の最上位F の基準値をク リアーしJAS・大臣・自主表示認定 取得
提案営業センター新設	平成16年4月 平成17年2月	アルミ製オープン階段「ルミスト」の 発売

## ごあいさつ

株主の皆様には、ますますご清祥のこととお喜び申しあげます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、第52期事業報告書をお届けするにあたり、ご挨拶を申し上げます。

当期のわが国経済は、企業業績の改善を背景に順調な回復傾向を示しておりましたが、下期に入り減速の兆しを見せ始めました。これは、IT関連の在庫調整や原油の高騰による不安材料が浮上してきたことに加え、度重なる台風の襲来と地震による自然災害の発生が影響したと思われる。

住宅業界におきましては、新設住宅着工戸数が低調のなか2年連続増加したことにより堅く推移いたしました。

このような状況下、当社グループは海外子会社の収益改善に取り組むとともに収納材製品の生産移管を進めました。その結果、ローコストタイプの収納材製品の生産が可能となり、競合他社との価格競争に対応できるようになっております。また、アルミ製オープン階段「ルミスト」や和室創造ボックス「キャブロック」などの新製品を発売いたしましたところ、お客様に好評価を頂き今後の販売に期待を寄せているところであります。

景気は、いまだ不透明感が漂っておりますが、企業業績の改善が続くことから、回復に向け緩やかに推移していくものと予想しております。

当社グループといたしましては、今後とも皆様のご期待に応えるべく、環境変化への対応力と生産技術力の強化ならびに製造原価低減に努め、収益向上を目指してまいります。

ところで当社は、平成17年4月16日に会社設立50周年を迎えました。これもひとえに株主の皆様のご支援ご厚情の賜物と深く感謝いたしております。これを機に従業員一同新たな第一歩を踏み出し、「活力ある会社」の構築に努めてまいりますと存じます。

株主の皆様におかれましては、何卒ご支援ご鞭撻を賜わりますようお願い申し上げます。

平成17年6月



代表取締役社長

丸山 徹

### 役員

(平成17年3月31日現在)

代表取締役社長	丸山 徹	取締役兼執行役員	濱野 勝
代表取締役専務	山口時弘	取締役兼執行役員	藤村 岳志
常務取締役	嶋内 幸秀	取締役兼執行役員	正箱 孝史
常務取締役	田井 雅士	取締役兼執行役員	丸山 宏
常務取締役	植田 幹夫	常勤監査役	高松 幸雄
取締役相談役	丸山 修	監査役	水野 正
取締役兼執行役員	立花 俊憲	監査役	大川 俊徳
取締役兼執行役員	小紅 正晴	監査役	岩部 達雄

## 当期の概況

当期のわが国経済は、企業業績の改善から緩やかな回復を続けてきましたが、徐々に減速の兆しを見せ始めました。

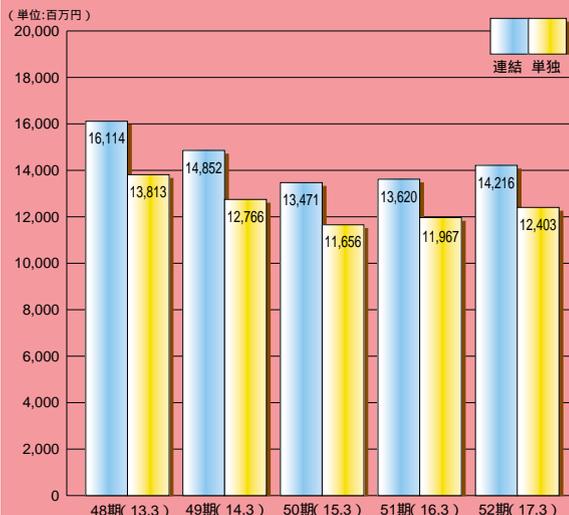
こうしたなかで、当社の連結業績に影響を及ぼす新設住宅着工戸数は、低調のなか2年連続増加したことにより堅く推移し、前年度に比べ1.7%増の1,193千戸となりました。

このような状況下、木材関連事業、電線関連事業等共に企業収益の改善に取り組みました。木材関連事業においては、海外子会社の原材料調達方法の見直しを行い製造原価低減に努めました。また、国内工場で生産しております収納材製品の生産を海外子会社への移管を進め、海外生産製品の割合を増やしました。その結果、顧客要望の強かったローコストタイプの収納材製品の生産が可能となり、競合他社との価格競争に対応できるようになっております。

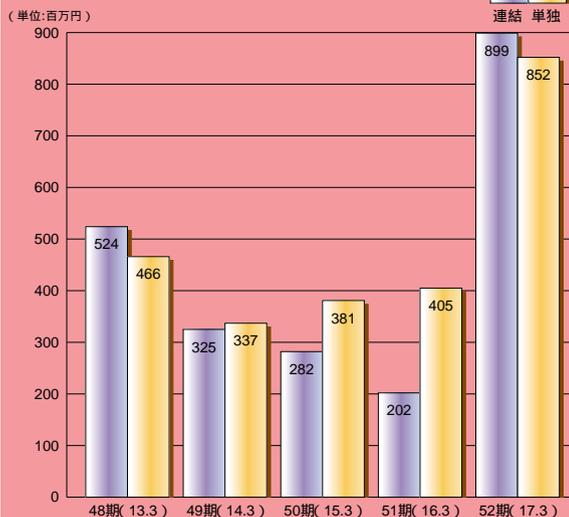
一方、電線関連事業等につきましては、民間企業設備投資が堅調な推移を示しておりますが、地方の中小企業におきましては依然として厳しい状況が続きました。こうしたなか、積極的に地域密着型の営業活動を展開することにより売上の確保に努めました。

以上の結果、連結業績は、売上高142億16百万円（前期比4.4%増）、営業利益9億68百万円（同406.3%増）、経常利益8億99百万円（同343.5%増）、当期純利益4億51百万円（前期は当期純損失21百万円）となりました。

### 売上高の推移



### 経常利益の推移



## 次期の見通し

わが国経済は、景気減速が続いておりますが、海外景気の回復による輸出の拡大から生産や企業収益の回復が期待できることから、徐々に回復傾向をたどると予想しております。

このような状況により、新設住宅着工戸数の動向は低調のなか堅く推移していくことを予想しますが、木材関連事業、電線関連事業等共に厳しい経営環境が続いていくと思われまます。

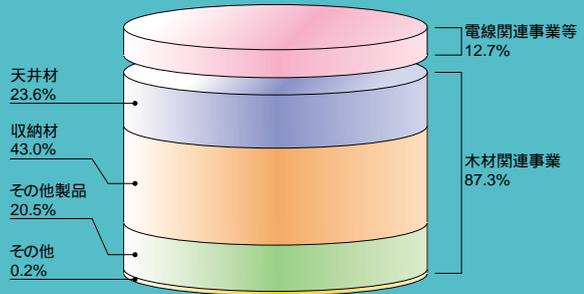
当社グループといたしましては、環境変化への対応力と生産技術力の強化に努めるとともに、グループの連携を強固にしていくことにより、業績の拡大を図っていく所存であります。

木材関連事業においては、海外子会社と国内工場の連携による効率的な生産体制を推進することにより、生産品の製造原価低減と品質向上を推進してまいります。また、資源・環境問題を考慮し植林材使用への転換を図るための生産技術力強化に取り組んでまいります。

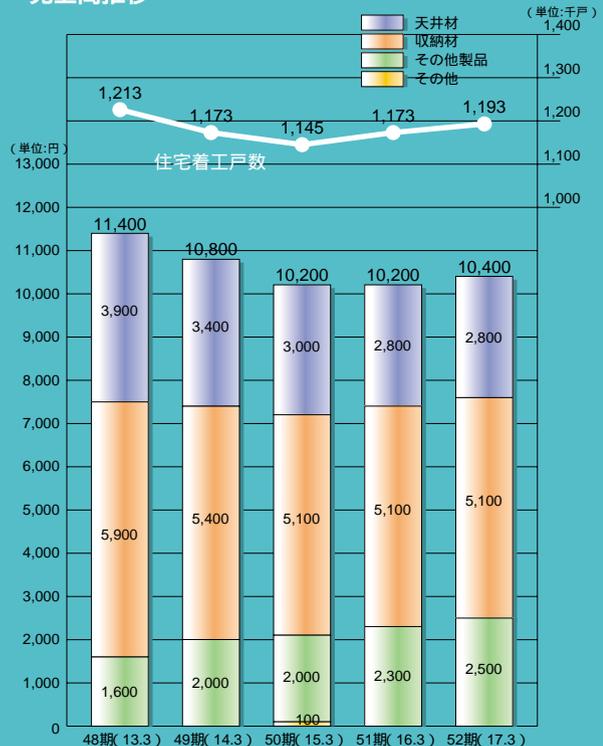
一方、電線関連事業等につきましては、引き続き積極的な営業活動を展開すると同時に合理的な経営システムの構築に取り組み、収益の計上できる企業を目指してまいります。

次期の連結業績は、売上高147億4百万円（前期比3.4%増）、営業利益9億5百万円（同6.6%減）、経常利益10億20百万円（同13.4%増）、当期純利益5億11百万円（同13.3%増）になるものと予想しております。

### セグメント別の連結売上高構成



### 新設住宅着工一戸当たりの木材関連事業の売上高推移



注) 売上高は、外部顧客に対する売上高であります。

# 「提案営業センター」がオープンしました

志度工場内に2005年2月8日オープン、4月より本格始動しております。

会社設立50周年の節目にあたり、多くのお客様をお招きし、工場見学とあわせて、当社の技術力、商品力を「提案営業センター」にてご案内致します。

## 提案営業センターとはこんな場所です

### 1 商品情報をいろいろなかたちで提供する場所

南海商品を実際に見て、触れて、体感してもらおうと共に、パネル展示や説明ビデオ等様々な説明ツールが充実した総合案内所として利用できます。

### 2 南海プライウッドという会社を知ってもらう場所

見学だけではわかりづらい工場の詳しい説明や、海外工場、物流など見学ができない部分の説明を分かりやすく行い、南海プライウッド全体を知ってもらいます。

### 3 最新情報を入手できる場所

まだ製品化していない商品や、新しいデザインのものを用意し早く施工し、これからの取引きにつなげるとともに、お客様の動向もリサーチすることができる情報交換の場としても機能します。

### 4 社内研修、スキルアップの場所

施工現場を見る機会に恵まれない社員にも、ここで施工実演を見たり、自ら施工を体験したりと生の情報を吸収でき、よりきめの細かな販売活動につなげることができます。

## ルミスト体験コーナー



上り下りの安心感や素材にこだわったムクならではのあたたかさを感じて頂くコーナーです。実際に体験してみてください。

ストレートタイプ  
L型タイプ

## 床暖房体験コーナー



実際に各種床暖房を施工し、体でそのぬくもりを感じて頂くコーナーです。足元からのやさしいぬくもりをぜひ実感して下さい。

電気床暖房 仕上げ材一体型  
うたたね<リップルタイプ>  
温水床暖房 仕上げ材一体型  
ゆこちこ<リップルタイプ>  
はやわざ



## 2階建てモデルハウス



床・天井・収納・階段と幅広くコーディネートしている「2階建てモデルハウス」。

定番商品はもちろん、新商品、ご提案商品も加え、お客様に住空間を感じて頂けるようになっています。



### 1階

洋室天井 ハーモシーリング  
アートフロアーリブル  
アルミ製オープン階段 ルミスト  
NEWアートランバー  
飾り棚  
押入内部セット

### 2階

アートフロアーリブル  
アルミ製オープン階段 ルミスト  
システム机  
飾り棚  
和室創造BOX キャブロック



## センターブース



### センターブース

アートフロアーリブル  
システム収納  
ウォールゼット ムーブ  
キャブロック  
飾り棚

ダーク色で統一されたスタイリッシュ・モダンスタイルはハイグレード感と機能性をあわせ持ち、大人の静穏な時間をよりいっそう深めてくれます。



### センターブース

アートフロアーリブル  
アルミ製オープン階段 ルミスト  
キャブロック  
リビング収納  
化粧カウンター  
飾り棚

リビングに階段スペースを取り込めば、そこにはオープンな大空間が出現。気がつけば、いつも誰かが何かをしている楽しいリビングのご提案。



### センターブース

アートフロアーリブル  
アルミ製オープン階段 ルミスト  
NEWアートランバー  
アルミフレームカウンター

通路として使われていた空間に、スペースを有効活用したオープン収納と家族の存在をシャットアウトしないパーソナル空間をプラスし、多目的空間に。



### センターブース

ウォールゼット ノエルE  
ノエルベース  
中段框付ゼット  
NEWアートランバー  
棚柱セット  
ビルトインシステム収納  
ハンガーパイプ付枕棚セット  
飾り棚

ここでは収納へのノウハウと技術力を結集した、様々な収納のカたち・収納の理想形をご提案します。

## 連結財務諸表

## 連結貸借対照表

(単位:百万円)

## 資産の部

科目	期別	前連結会計年度 (平成16年3月31日現在)	当連結会計年度 (平成17年3月31日現在)
流動資産		8,444	8,803
現金及び預金		976	1,213
受取手形及び売掛金		2,583	2,460
たな卸資産		2,910	3,112
デリバティブ債権		141	48
繰延ヘッジ損失		1,559	1,849
その他の流動資産		287	136
貸倒引当金		14	18
固定資産		12,981	12,530
有形固定資産		9,604	8,829
建物及び構築物		2,773	2,623
機械装置及び運搬具		2,000	1,403
工具器具備品		92	72
土地		4,738	4,730
無形固定資産		311	230
投資その他の資産		3,065	3,469
投資有価証券		799	775
長期貸付金		12	19
差入保証金		1,866	2,368
その他の投資		424	308
貸倒引当金		38	2
資産合計		21,425	21,333

## 負債の部

科目	期別	前連結会計年度 (平成16年3月31日現在)	当連結会計年度 (平成17年3月31日現在)
流動負債		5,247	4,984
支払手形及び買掛金		1,265	1,324
短期借入金		1,271	906
未払金		383	390
未払法人税等		227	160
未払消費税等		51	115
賞与引当金		111	122
工場稼働停止損失引当金		215	38
デリバティブ債務		1,701	1,898
その他の流動負債		21	27
固定負債		603	524
長期借入金		45	38
退職給付引当金		234	200
役員退職慰労引当金		61	61
その他の固定負債		261	223
負債合計		5,850	5,509

## 少数株主持分

少数株主持分	7	8
--------	---	---

## 資本の部

資本金	2,121	2,121
資本剰余金	1,865	1,865
利益剰余金	11,406	11,738
その他有価証券評価差額金	184	177
為替換算調整勘定	44	28
自己株式	55	57
資本合計	15,567	15,816
負債、少数株主持分及び資本合計	21,425	21,333

注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	期別	前連結会計年度 平成15年4月1日から 平成16年3月31日まで	当連結会計年度 平成16年4月1日から 平成17年3月31日まで
売上高		13,620	14,216
売上原価		9,968	9,771
売上総利益		3,652	4,445
販売費及び一般管理費		3,460	3,476
営業利益		191	968
営業外収益		168	160
営業外費用		157	229
経常利益		202	899
特別利益		16	58
特別損失		55	209
税金等調整前当期純利益		163	747
法人税、住民税及び事業税		271	250
法人税等調整額		79	45
少数株主利益(損失)		7	1
当期純利益(損失)		21	451

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	期別	前連結会計年度 平成15年4月1日から 平成16年3月31日まで	当連結会計年度 平成16年4月1日から 平成17年3月31日まで
営業活動による キャッシュ・フロー		4	883
投資活動による キャッシュ・フロー		541	125
財務活動による キャッシュ・フロー		129	492
現金及び現金同等物に 係る換算差額		46	25
現金及び現金同等物の 増減額		454	239
現金及び現金同等物の 期首残高		1,422	968
現金及び現金同等物の 期末残高		968	1,207

## 連結剰余金計算書

(単位:百万円)

科目	期別	前連結会計年度 平成15年4月1日から 平成16年3月31日まで	当連結会計年度 平成16年4月1日から 平成17年3月31日まで
資本剰余金期首残高		1,865	1,865
資本剰余金期末残高		1,865	1,865
利益剰余金期首残高		11,528	11,406
利益剰余金増減高(減少)		121	331
配当金		100	119
役員賞与			
当期純利益(損失)		21	451
利益剰余金期末残高		11,406	11,738

## 株主資本比率

74.1%

## 株主資本当期純利益率

2.9%

## 1株当たり株主資本

1,591円

## 個別財務諸表

## 貸借対照表の要旨

(単位:百万円)

## 資産の部

科目	期別	
	前期 (平成16年3月31日現在)	当期 (平成17年3月31日現在)
流動資産	7,501	7,632
現金及び預金	404	651
受取手形・売掛金	1,815	1,681
たな卸資産	2,492	2,402
その他	2,789	2,896
固定資産	13,480	13,190
有形固定資産	8,453	7,784
建物	2,362	2,262
機械装置	1,698	1,154
土地・その他	4,392	4,367
無形固定資産	208	156
投資その他の資産	4,818	5,249
投資有価証券	689	656
長期貸付金	1,829	1,930
差入保証金	1,504	2,004
その他	794	658
資産合計	20,982	20,823

## 負債の部

科目	期別	
	前期 (平成16年3月31日現在)	当期 (平成17年3月31日現在)
流動負債	4,689	4,340
支払手形	374	409
買掛金	375	336
短期借入金	1,260	900
未払金	314	305
その他	2,365	2,389
固定負債	532	430
長期借入金	-	-
その他	532	430
負債合計	5,221	4,770

## 資本の部

資本金	2,121	2,121
資本剰余金	1,865	1,865
利益剰余金	11,650	11,965
その他有価証券評価差額金	177	157
自己株式	55	57
資本合計	15,760	16,052
負債及び資本合計	20,982	20,823

## 損益計算書の要旨

(単位:百万円)

科目	期別	
	前期 平成15年4月1日から 平成16年3月31日まで	当期 平成16年4月1日から 平成17年3月31日まで
営業収益	11,967	12,403
営業費用	11,669	11,710
営業利益	297	692
営業外収益	204	198
営業外費用	96	38
経常利益	405	852
特別利益	17	57
特別損失	54	211
税引前当期純利益	368	699
法人税、住民税及び事業税	263	244
法人税等調整額	102	21
当期純利益	206	433
前期繰越利益	53	65
当期未処分利益	260	498

注)1株当たりの当期純利益

20円67銭

41円5銭

## 利益処分

(単位:百万円)

科目	期別	
	前期 株主総会承認日 (平成16年6月25日)	当期 株主総会承認日 (平成17年6月24日)
当期末処分利益	260	498
特別償却準備金取崩額	23	20
計	284	519
株主配当金	119 (1株につき12円)	148 (1株につき15円)
取締役賞与金	-	25
監査役賞与金	-	1
別途積立金	100	300
次期繰越利益	65	44

## 株式の状況

(平成17年3月31日現在)

## 総数

会社が発行する株式の総数……………20 000 000株

ただし、株式の消却が行われた場合は、これに相当する株式数を減ずる。

発行済株式総数……………10 095 800株

株主総数……………935名(前期末比15名増)

## 大株主

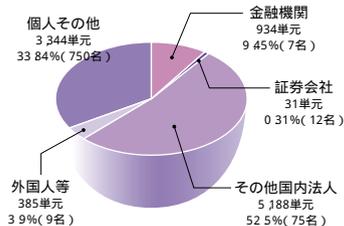
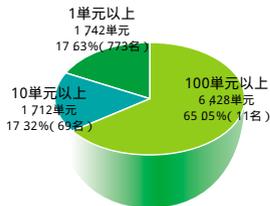
株主名	持株数	議決権比率
南海興産株式会社	2 943千株	30.30%
財団法人南海育英会	1 554	16.00
株式会社百十四銀行	467	4.80
丸山修	344	3.54
株式会社愛媛銀行	243	2.50
エスアイエス セガ インターセル エージ	180	1.85
南海プライウッド従業員持株会	147	1.51

## 自己株式の保有

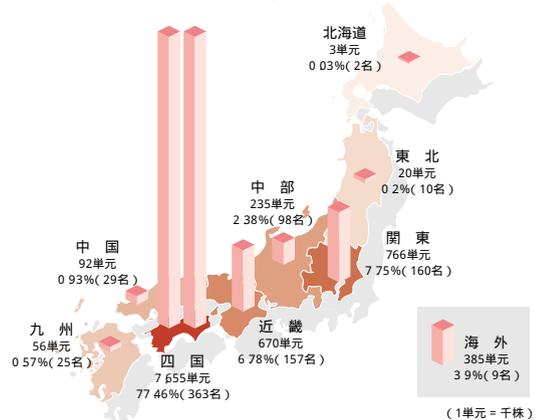
保有自己株式数……………172千株

## 所有単元数別分布状況

## 所有者別分布状況



## 地域別分布状況



## 株主メモ

## 決算期

3月31日

## 定時株主総会

6月下旬

## 名義書換代理人

株式会社だいこう証券ビジネス

## 名義書換取扱場所

〒541-8583 大阪市中央区北浜二丁目4番6号  
株式会社だいこう証券ビジネス 本社証券代行部

## 株式事務各種問合せ

・フリーコール電話番号 0120-255-100

## 株式関係手続用紙請求先

・フリーコール電話番号 0120-351-465

インターネットホームページ <http://www.daiko-sb.co.jp>

## 同取次所

株式会社だいこう証券ビジネス 各支社

## 上場証券取引所

株式会社大阪証券取引所 市場第二部  
(証券コード 7887)

## 公告の方法

日本経済新聞に掲載いたします。  
ただし、商法特例法に定める  
貸借対照表及び損益計算書にかかる情報は、  
<http://www.nankaiplywood.co.jp/kai/kej/k-top.htm>  
において提供しております。



南海プライウッド株式会社

R100

古紙配合率100%再生紙を使用しています